



## 行政無線情報は電話でも

防災行政無線が聞き取りにくい場合は ☎(48)7030 で確認してください。最新のメッセージを聞くことができます。



仙台市泉区は、仙台市の内陸部に属し、海岸線を持たないため、津波の被害はありませんでした。しかし、震度六弱を記録しており、古い木造建築、沢や沼を埋めて宅地開発した

東日本大震災で被災した宮城県仙台市の支援のため、五月六日～十四日の九日間、「愛知県町村会被災地支援隊」第一班(八人)の一員として、町職員を仙台市泉区役所へ派遣しました。その職員の報告です。

### 派遣職員の現地での活動報告(前編)

# 防災への意識改革

160

安全で住みよいまちづくり

ニュース

防災交通課 ☎(48)111 (内208)



地割れがおき、傾いてしまった住宅

地盤が弱い場所を中心に、大きな被害を受けていました。支援業務の内容は、被災した建物の損害の程度を証明する「り災証明書」を発行するため、建物の被害認定調査を行うものです。この現地での調査を元に、り災証明書が発行されることとなります。調査は、被害内容を調査票の項目に基づき点数化し、「全壊」「大規模半壊」「半壊」



被害認定調査の様子

「一部損壊」の四段階評価をしています。

泉区では、八万世帯(人口約二十万人)のうち、り災証明書の申請件数が一万以上に達します。そのうち、調査が終了したのが五千件に届かない状況(五月十三日現在)です。り災証明書発行担当の職員は、三月十一日の震災以降、懸命の努力が続けています。しかし、被害の規模があまりにも大きすぎ、り災証明書の発行が滞っており、被災された方から速やかな発行を求められています。

被災された皆さんに、一刻も早いり災証明書の発行のため、愛知県をはじめ全国の市町村職員が応援に駆けつけ、汗を流すことになりました。派遣された職員は「被災された方から、三月十一日の本震では何とか

家は持ちこたえたが、余震で被害が大きくなってしまった」など震災当時の貴重な話を聞くことができ、調査に訪れた現場の状況と合わせ、地震の恐ろしさを再確認した」と語っていました。

### 春の交通安全キャンペーンを実施しました



春の交通安全県民運動期間(五月十一日～二十日)中の五月十四日(土)、オアシス大橋東交差点において、宮津団地交通少年団、交通安全協会半田支部阿久比分会、半田警察署署員らによる交通安全キャンペーンを実施しました。当日は天気も良く暖かく、子どもたちは「シートベルトを締めて安全運転をお願いします」などの呼び掛けをし、積極的に啓発物品を配りました。